

平成 2 4 年度 委員会行政視察実施報告書

委 員 会 名	環境建設委員会
参 加 委 員	小林三喜雄 古市順子 清水俊治 土屋孝雄 堀 善三郎 南波清吾

委員長、 副委員長

1 上田市での課題と視察の目的

消防団員の定数確保が課題となっていることから日本消防協会にその対策を聞く。「東日本大震災後の我が国消防のあり方に関する意見」を出したので、今後の消防団活動の考えを聞くため視察することとした。

2 実施概要

実施日時	視 察 先	財団法人日本消防協会
平成 2 4 年 7 月 2 4 日 1 0 時 1 0 分 ~ 1 1 時 2 0 分	担当部局	総務部
視察事業名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東日本大震災後の我が国消防のあり方 ・ 消防団員確保対策 	
報 告 内 容	<p>1 視察先の概要 国・地方公共団体に消防団員・職員の処遇改善、消防団員の確保・装備・教育の充実等の課題要請を主に行う法人。</p> <p>2 視察事項について 消防団員確保対策について 我が国の消防のあり方について</p>	
考 察 (まとめ:市政に活かせると思われる事項等)	<p>上田市の消防団活動は、高く評価されている。</p> <p>団員確保には、報酬・手当、共済制度、装備の充実等が大切。 消防経験者等の地域力の確保と活用。 地域住民の支援・協力のあり方の工夫。 消防機材の充実と通信・救助機材の充実も大切。 消防団詰所の防災コミュニティーセンター化の検討。</p>	



平成24年度 委員会行政視察実施報告書

委員会名	環境建設委員会
参加委員	小林三喜雄 古市順子 清水俊治 土屋孝雄 堀 善三郎 南波清吾

委員長、 副委員長

1 上田市での課題と視察の目的

上田市の下水道の整備率は92.0%、農業集落排水は100%。今後は、合併浄化槽の普及が課題（上田市の補助金額は5人槽35万2000円、51人槽以上242万9000円）。

空き地等の雑草処理の苦情が近年多く見られるため、その対策として先進地である七飯町を視察することとした。

2 実施概要

実施日時	視察先	北海道亀田郡七飯町
平成24年 7月25日 10時30分～11時45分	担当部局	環境生活課生活環境係
視察事業名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合併処理浄化槽設置整備事業補助金制度 ・ 空き地の雑草刈り取りについて 	
報告内容	<p>1 視察先の概要 函館市のベッドタウンとして人口が増加している。産業は一次産業が中心であるが大沼国定公園を中心とした観光関連産業に従事する町民も多くなっている。</p> <p>2 視察事項について 合併浄化槽の補助 空き地の雑草刈り取りの委託について</p>	
考 察 (まとめ:市政に活かせると思われる事項等)	<p>5人槽52万円、451人槽3,000万円。 住宅密度を考えた時、合併浄化槽普及が効果的と判断している。 大沼国定公園内の宿泊施設・新幹線開通の関係から大型化が必要と判断する。 個人・集合住宅等で維持・管理に問題点が見られる。 雑草の刈り取りの有料化は、住民の要望でもある。 苦情が出された土地所有者は、行政から指導される。翌年も申請書は送られる。 個人希望も受け入れる。 犯罪、交通事故、火災等の防止に大きく寄与する。</p>	



平成 2 4 年度 委員会行政視察実施報告書

委 員 会 名	環境建設委員会
参 加 委 員	小林三喜雄 古市順子 清水俊治 土屋孝雄 堀 善三郎 南波清吾

委員長、 副委員長

1 上田市での課題と視察の目的

公共交通対策は地方都市の大きな課題となっている。上田市も様々な対策をとっている。今年度は運賃低減バス運行計画が検討されている。そこで、バス運行を民間に委託し路面電車に特化した先進地である函館市を視察することとした。

2 実施概要

実施日時	視 察 先	北海道函館市
平成 2 4 年 7 月 2 5 日 1 3 時 4 5 分 ~ 1 5 時 1 0 分	担当部局	函館市企業局交通部
視察事業名	・ 函館市企業局交通部の課題と対策について	
報 告 内 容	<p>1 視察先の概要 函館市企業局交通部は、平成 1 5 年にバス部門を民間に委託した。現在は北海道遺産の一つに挙げられる路面電車運行を担っている。</p> <p>2 視察事項について 函館市企業局交通部の課題対策。路面電車に乗車しての視察。</p>	
考 察 (まとめ:市政に活かせると思われる事項等)	<p>復元チンチン電車を復活し超低床電車等を運行したことは、市民・観光客にも評価されている。</p> <p>2キロまで大人200円、子供100円。10キロまで大人250円、子供130円。1日券600円。6分間隔で運行。</p> <p>1時間・30分間隔の運行は乗客が離れる。</p> <p>一般会計補助金3億円で経営は維持できている。</p> <p>乗車視察では、多くの市民が利用している。</p> <p>市民は、路線バスとのすみ分けうまく行っている印象。</p> <p>生活の一部になっている印象。</p>	



平成 24 年度 委員会行政視察実施報告書

委 員 会 名	環境建設委員会
参 加 委 員	小林三喜雄 古市順子 清水俊治 土屋孝雄 堀 善三郎 南波清吾

委員長、 副委員長

1 上田市での課題と視察の目的

生ゴミについては堆肥化などの対策を講じる必要性は理解しつつも、実行するには多くの課題がある。しかし、いくつかの行政団体では処理方法の違いはあるものの実行している。そこで、先進地である北斗市を視察することとした。

2 実施概要

実施日時	視 察 先	北海道北斗市
平成 24 年 7 月 26 日 9 時 40 分 ~ 11 時 00 分	担当部局	市民部環境課
視察事業名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生ゴミ処理について ・ 超高温好気性発酵処理施設視察 	
報 告 内 容	<p>1 視察先の概要 北斗市は、平成 18 年 2 月 1 日上磯町と大野町が合併して人口約 5 万人弱の市として誕生した。産業は農業と漁業が中心であるが平成 27 年の新幹線開業に合わせ、函館本線大野駅が新駅となるため企業誘致による商工業の発展を展望する。</p> <p>2 視察事項について 生ゴミ処理について</p>	
考 察 (まとめ:市政に活かせると思われる事項等)	<p>回収方法は、委託業者が個々のお宅の前に出ている生ゴミを回収している。</p> <p>公設民営の施設において民間業者が生ゴミを肥料にしている。冬季間は、発酵による蒸気によって暑いという状況。臭い・ハエ等による不快感は思ったほどなかった。</p> <p>肥料になった生ゴミは農家に還元。でき上がった肥料対策をどうするかが課題。</p>	

